

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2153
研究開発課題名	データセンタ光トランシーバ用超高速ポリマ光変調器の集積化
研究代表者	長崎大学 大学院工学研究科 教授 榎波 康文

総合評価

超高速ポリマ光変調器用材料技術は独創的な技術であり、研究開発も適切に進められていると評価できる。今後、デバイス開発費用を含め多額の資金が必要であり、変調器開発・販売のためには他企業との連携も模索する必要がある。また、研究開発と並行して、事業化へ向けての計画の明確化や取り組みの具体化など一層の検討が必要である。

以上